

B. 屋内緑化コンクール 緑の取組み部門

屋内緑化推進協議会奨励賞

パーク・コーポレーション parkERs

中央日本土地建物株式会社（受付番号 B- 1 5）

（フリガナ）	モリトツナガルワークプレイス・アールアンドディーキューテン
作品名称	森とつながるワークプレイス・R&D 拠点
所在地	東京都港区西新橋 1-7-1 虎ノ門セントラルビル 9 階
応募施設	1 公共 2 学校 3 病院 4 老健 5 事務所 6 商業 7 集合住宅 8 その他
取組期間	2023 年 12 月 ～ 現在

○取組の概要（必須）

東京都千代田区霞が関に本社を構える、中央日本土地建物株式会社が目指す「新しいワークプレイス」および「オフィスの付加価値向上に資する空間」を開発するための R&D 拠点「NAKANIWA」。自然豊かで五感に働きかける空間とし、社員自ら利用しながら、パフォーマンスを最大化するオフィスの在り方検証や、エンゲージメント向上に資するサービス・コンテンツ等の効果検証を行います。

山梨県南都留郡山中湖村と神奈川県平塚市にある同社保有林を彷彿とさせる空間をデザインしており、現在も植栽のメンテナンスやワークショップイベントなどを定期的に行っています。

NAKANIWA はこの空間を通じて、利用者が森林や自然とつながるきっかけをつくり、環境配慮やサステナビリティに対する意識を高め、そこから生まれる交流の促進を図っています。



○取組のシステム（必須）

①事業活動や空間を生かしたワークショップの開催

中央日本土地建物株式会社の社員向けワークショップを 1 年以上継続して定期開催しており、毎回約 2 0 名が参加しています。同社保有林の素材を使用したり、同社が出展するイベントの関連資材をリユースしたりすることで、会社へのエンゲージメントを高めつつ環境意識を醸成する内容になっています。また、季節感を感じていただくために 2024 年 9 月以降はお月見装飾やクリスマス装飾などの空間装飾も同時に行っています。

<実施したワークショップ一例>

2023 年 12 月 クリスマスリース作り ※保有林の素材を使用

2024 年 1 月 和ハーブティー講座 ※空間にある植栽（和ハーブ）を紹介

2024 年 2 月 大切な人へ贈るフラワーボックス作り ※保有林の素材を使用

2024 年 3 月「NAKANIWA に花を咲かせよう」※チームでの空間装飾イベント

2024 年 3 月 テラリウム作り ※保有林にある樹種の苗木を使用

2024 年 6 月 アロマストーン作り ※同社出展イベント装飾の再利用

2024 年 6 月 ドライボトル作り 同社出展イベント装飾の再利用

2024 年 9 月 お月見フラワーアレンジメント ※お月見装飾も同時実施

2024 年 12 月 クリスマスリース作り ※保有林の素材を使用、クリスマス装飾も実施

2025 年 3 月 苔テラリウム作り ※保有林をイメージした桜装飾も実施

②ワークショップの成果品を空間に常設する取り組み

開催して終わりではなく、人気のワークショップの成果品を常設する取り組みも行っています。参加者から特に好評だった和ハーブティー講座をきっかけに、オフィスの一角に和ハーブティーコーナーを新設。毎月植栽のメンテナンス時に異なる茶葉に交換し、いつでも季節の和ハーブティーを楽しめる仕組みを作りました。



○ワークショップの具体的活動内容の一例

クリスマスリース作りでは保有林の松ぼっくりを使用。同社が所有する 2 つの保有林それぞれで植生が異なることから、大小様々な松ぼっくりを用意できました。「こんな大きな松ぼっくり見たことない!」「カラマツの松ぼっくりは小ぶりでかわいいね」など、リース作りを通して自然と生物多様性を考えるきっかけとなりました。さらに、ワークショップ以外の場でも楽しめる松ぼっくりを使ったセルフオーナメント作りを同時開催することで、イベント時以外でも季節を感じ、自然に触れられる機会を創出しています。



○取組の波及効果（任意）

2025 年 3 月以降は同社ビルのテナント様にも参加枠を開放することで、会社を超えたコミュニケーションが育まれるイベントに進化しています。参加者からは「他社や社内の他部署の方と交流できて良かったです」「植物に触ることでリフレッシュできました」というお声もいただきました。

